

餅つき

今年も、『愛南地区防犯協会』様に餅米をいただきました。12月27日に、ロビーにて餅つきをして、入所者・通所者の皆さんに召し上がって頂きました。

臼でお餅をつき、職員と一緒に入所者の皆様も「昔取った杵柄」で、お餅を上手に丸めて楽しめました。

鏡餅、あん餅、よもぎ餅を作り、「おいしい」と、たくさん召し上がり、皆さん大変喜ばれました。



平成22年国民健康栄養調査では、日本の成人喫煙率は19・5%であった。今回厚生労働省は、この10年間で成人の喫煙率を12%まで引き下げるといふ具体的な数値目標を示した。喫煙は今や単なる趣味、嗜好でない。喫煙習慣はニコチン依存症という病気である。喫煙率の数値目標を達成するためにも、喫煙を続けている皆さん、禁煙治療に挑戦してみてはいかがだろうか。

喫煙習慣は癌、呼吸器疾患、心血管疾患をはじめ、数多くの疾患の発症に関与している。また、疾患に関与するだけでなく、受動喫煙の問題や増大する医療費の問題など社会的損失は計り知れない。

禁煙のすすめ
施設長 粉川 顯伸



12月にクリスマス会を行いました。入所者の皆さんは、西河事務長サンタよりクリスマスプレゼントをいただきました。入所者の皆さんは、とても喜ばれました。



12/15『愛南漁協魚類養殖協議会』様より新鮮な鰯と鯛を頂きました。

刺身、焼き魚、お吸い物にして入所者の方々に召し上がって頂き、皆さん大変おいしいと喜んでおられました。お刺身はあまり食べる機会が少ないので特に笑顔が多かったようです。ありがとうございました。

